



ヤケドのご自宅でのケアについて



★ヤケドについて

ヤケドはその深さによって重症度が変わります。ヤケドをしたその日が一番深いのではなく、2～3日後頃に深さが決まるという特徴があります。

浅いヤケド:皮膚の色だけが赤くなっている状態で、特別な治療は必要なく、3～6日で傷跡を残さずに治ることが多いです。

中くらいのヤケド:水ぶくれができています。治るまでには約7～21日かかり、その中でも①傷跡を残さないタイプと②傷跡を残しやすいタイプがあります。

深いヤケド:皮膚の色が灰色や黒色に変化している状態で、皮膚移植などの手術が必要になる可能性があります。

★湿潤療法とは

水ぶくれを作るようなヤケドからは透明な液体がでてきます。この液体は、傷を治そうとする因子が含まれており、傷の治りを促進させる働きがあります。ただし、怪我をした当初はこの液体が過度に出てしまうため、衣服などが汚れてしまいます。そのため、処方された軟膏を塗り、ガーゼやテープ剤で覆うことで傷を適切に湿った環境にしておくことを湿潤療法といいます。

★受診した翌日から毎日、1日1回は傷をきれいに洗い、湿潤環境を保ちましょう

基本的には水道水で洗浄して問題ありません。傷の表面に汚れやヌルヌルしたものがある場合には指の腹などで優しく洗い流してください。石鹸の泡をつけても構いません。その後処方された軟膏を塗り、ガーゼやテープで保護してください。場所によっては覆うことが難しいことや、不要な場合もあります。

★毎日のケア時に確認してほしいこと

細菌の感染が疑われないか。…傷が赤々しい、痛みが強い、発熱があるなど。感染はヤケドをしてから数日以内に起こることが多いです。

上記のような症状が疑われた場合は、早目に再受診をしてください。

★顔のまわりのヤケドについて

沸騰した液体やスチームなどによる顔のまわりのヤケド(特に口の周り)は、空気の通り道のヤケドを起こすことがあります。稀ではございますが、ヤケドをしてから24～48時間程度たってから、空気の通り道がむくんで狭くなることがあります。その際はゼーゼーする、声がかすれる、よだれが増える、息苦しくて横になれない、普段より大きいびきをかく、などの症状が出現します。場合によっては緊急処置が必要となる場合がありますので、すぐに連絡をください。

★その後のケア

水ぶくれができるような中くらいのヤケドの場合、約3週間程度で新しい皮膚ができてきます。新しい皮膚は紫外線の感受性が高いため、紫外線にあると傷跡が残りやすくなる場合がありますので、遮光をおすすめします。傷は最初のうちは白っぽく見えますが、数か月～数年かけて周囲になじんでいきます。なお、ケロイドや癬痕などの兆候は受傷後約3～4週間ですでてくる場合があります。癬痕形成のリスクが高い関節にかかったヤケドの場合などは、状況に応じ、専門性の高い治療が可能な病院へ紹介する、などの対応をさせて頂く場合がございます。